

WASHIN PRESS


和新工業株式会社
 WASHIN INDUSTRY CO., LTD.

 〒838-0823 福岡県朝倉郡筑前町山隈1279-1
 TEL 0946(23)0711 FAX 0946(23)0716
<https://www.washin-kogyo.co.jp>

特別号

vol.23
2019年8月発行企画・発行
感動工房室

和新、新時代。

令和元年5月31日、和新工業株式会社は代表取締役社長の森 茂博が代表取締役会長に就任し、新たに森 仁志が代表取締役社長に就任いたしました。会社は創立から47年目を迎え、今後も全社一丸となってお客様に「安全とお役立ち」をご提供できる企業であり続けます。



代表取締役社長 森 仁志

和新工業に入社する前はどのような仕事を？

2014年9月に和新工業に入社しました。それまでは1996年に大学卒業後、内装材関係のメーカーに就職して東京や仙台に勤務し、転勤で福岡へ戻ってきていました。全国に事業展開している会社でしたので、おかげで日本全国ほぼすべての都道府県を訪れることができました。

事業承継を決意したきっかけは何でしたか？

和新工業に入社する3年程前にも実は会長から打診がありました。その時は全く考えられずに話をあっさりと流してしまった記憶があります。それから3年ほど経ったある日、居酒屋で2人で飲んでいた時に「お前と一緒に仕事がしたい」と言われ、「あ、そうか」と妙に納得したのがきっかけですね。

サラリーマン時代から、もしかしたら子供の頃からかもしれませんが、いつかは企業のトップとして経営に関わりたいという気持ちは漠然とありました。また、仕事のことで悩みを相談した時に経営者としての考え方や、会長が大切にしている“社員の物心両面での満足”について熱心に話してくれたこともずっと心に残っていました。社員が一丸となって同じ方向を向いて仕事に励むことができるのを羨ましいとも感じていました。

実際に和新工業に入社した時の印象は？

入社した初日、会社のことはもちろん全く分からずに、朝礼の仕方も全く分からずにあっという間に一日が過ぎていったのですが、夕方に社内で勉強会があり、そこで会社のことについて一生懸命考えて話し合いをしている社員たちをみて「この会社の社員たちはすごい真面目だな」と思いました。

私はこの会社のことも業界のことも何も知らずに飛び込んできましたので、事業承継したとはいえ一人では何もできません。勝手なことをするわけにはいきません。まず大前提として社員の力が絶対に必要なのです。協力してもらいながら、相談しながら新しいことにもチャレンジしていきたいと考えています。

現在の社員数は26名です。そのうち三分の一は私も含めて入社10年未満です。新しい考え方もどんどん入ってきています。今後は「組織」の力をあげていきたいと思っています。これまでの経験や、様々な困難も乗り越えてきたことを糧にして「自分たちにもできる！」と自信をもって自主的に動ける組織にしていきたいのです。そのために会議のやり方を変えるなど、新しい取り組みもはじめています。

(→続く)

和新工業の将来について考えていることは？

現在の和新工業は「鉄」を原材料とする製品が中心です。けれども時代の流れを考えた時に「鉄」にばかりこだわってはいられないと思っています。車はガソリンだけでなく電気や水素で走るようになり、冷凍食品は今では日常生活に深く入り込んでいます。我々が扱う製品も「鉄」だけではなく別の素材も取り入れていく必要があるのではないかと、様々な素材メーカーと情報交換をはじめています。逆に、「鉄」だからこそできる新しい分野もあるかもしれません。

また「働き方」も変化しています。ちょうど今年は新しい社屋を建設中です。社員が増えて手狭になってきたこともありますし、職場環境を整えて社員が気持ちよく働く会社でもありたいと思っています。



代表取締役会長 森 茂博

社長就任から今日までを振り返って

2004年に社長就任した当時、実は経営状態は決してよいものではありませんでした。売上額はそれなりにあるものの利益率が低く、言ってみれば儲からない製品ばかりを作っていました。しばらくの間そのような状態が続き、取引金融機関の破綻やリーマンショックの影響などで業績はますます悪化し、二期連続で赤字となったこともありました。

この状況をなんとかしなければ！と取組んだのが「売上より粗利」と考え方を変えることでした。そのために、まずは私自身が変わることが必要で、その次に社員の意識改革に力を入れました。社員全体の意識が変わることによって実際に利益があがるようになりました。

そして2011年の東日本大震災。津波で大きな被害を受けた各地の様子をみて、我が社で何かお役にたてるものが作れないか、と考案したのが「津波避難階段のぼーる」でした。2013年頃からこの製品が順調に売上げを牽引するようになり、「階段」シリーズは我が社の主力製品となりました。

事業承継はどのように進めたのですか？

最初、年齢が70歳を迎えた頃に事業承継することを考えていました。けれども業績が回復し、将来の明るさが見えてはいたものの、まだ不安定なこともあって後を任せる決断ができず、後継者にも悩んでいました。

それから3年ほど経ち、会社を存続させるためにはどうしても事業承継しなければと考えるようになり、息子に再度声をかけたのです。もともと同族企業にするつもりはなかったのですが、私が引き継いだ後にもしも会社に何か起こった場合、責任持って見守ることができるのは、やはり息子に継いでもらうことでした。

今から30年以上前でしょうか、当時小学生だった息子が「会社のことを知りたい」とノートと鉛筆を持って会社に来たことがありました(本人は覚えてないようですが)。この時のことがずっと忘れられなかったこともあったと思います。「一緒に仕事がしたい」と告げて、5年間での事業承継計画がスタートしました。不安に思っていたに違いない社員たちも安心してくれたことと思います。

和新工業の将来に期待することは？

私のこれまでのやり方をどんどん変えていってほしいと思っています。時代の流れをしっかり掴んで、思い切って積極的に挑戦していってほしいです。ただ、経営理念の根幹である「社会貢献」と「社員の幸せと人間成長」を目指すことは和新工業の風土として受け継いでほしいですね。今後も社員と理念を共有して全社一丸で経営していくことを期待しています。

社長交代をして事業承継は一区切りがついたとは言っても、私もまだ現場に出ていますし、仕事量が減ったわけではありません。今後は社内の体制を整えられるようにバックアップしていくつもりです。



和 newIndex 47年のあゆみ

年月	和 newIndex のあゆみ	世の中の動き
1973(昭和48)年 7月	会社設立 枠組み足場、メタルフォーム生産開始	金大中事件発生、第4次中東戦争始まる
1976(昭和51)年 10月	佐賀県多久市にて佐賀工場稼働 鋼板布枠生産開始	天安門事件、田中 元首相逮捕
1982(昭和57)年 10月	現在地に本社、工場新築移転	
1989(平成元)年 4月		平成に改元、消費税率3%、日経平均株価史上最高値
1990(平成2)年 5月	本社第2工場建設	バブル経済崩壊、雲仙普賢岳200年ぶり噴火
1990(平成2)年 8月	本社製品倉庫建設	
1997(平成9)年 1月	本社塗装工場建設	消費税率5%、中小企業週40時間労働制スタート
1998(平成10)年 10月	エイトシステム(型枠支保工)開発、仮説工業会認定登録	長野冬季オリンピック開催
2003(平成15)年 12月	先行手摺枠開発 仮説工業会認定登録、実用新案登録	イラク戦争
2005(平成17)年 4月	佐賀工場生産ライン改善 経営革新事業認定	福岡県西方沖地震発生
2007(平成19)年 10月	本社事務所改築	75歳以上が人口の10%超、「白い恋人」[赤福]改ざん事件
2010(平成22)年 10月	吊り足場システム(ブラケットONE) 実用新案登録	日本航空会社、消費者金融武富士が会社更生法適用
2010(平成22)年 12月	足場作業リフトシステム 特許取得	菅直人内閣成立
2011(平成23)年 3月		東日本大震災発生
2012(平成24)年 4月	津波避難階段(のぼーる)開発 経営革新事業認定 法面点検階段(フリーステップ) 本格販売開始	衆議院選挙で自民党圧勝、民主党大敗 第2次安倍内閣始動、アベノミクス金融・財政・成長の経済政策
2012(平成24)年 12月	ニュースレター創刊号 発行	
2013(平成25)年 2月	吊り足場システム(ブラケットONE) 国交省NETIS登録	日銀金融緩和策、「経営者保障に関するガイドライン」
2014(平成26)年 1月	ニュースレター「WASHIN PRESS」として再発行 外国人技能実習生第1期生2名入社	消費税率5%から8%に 第3次安倍晋三内閣成立
2014(平成26)年 3月	ISO9001 認証取得	
2015(平成27)年 9月	物づくり補助金にてラジアルボール盤、スポット溶接機導入	
2016(平成28)年 8月	外国人技能実習生第2期生2名入社	長期金利マイナスに、熊本地震発生
2017(平成29)年 4月	新卒採用 3名入社	九州北部豪雨、トランプ大統領就任、森友学園・加計学園問題
2018(平成30)年 5月	レーザー加工機新機種導入	
2018(平成30)年 8月	外国人技能実習生第3期生2名入社	大阪・北海道地震、働き方改革法案成立
2019(平成31)年 4月	通年採用方針、インターンシップ受け入れ	令和に改元、G20 福岡・大阪で開催
2019(令和元)年 6月	アグロイノベーション(農業展) 出展 ダンパー式ダンプボックス開発	
2019(令和元)年 7月	社屋増改築着工 11月竣工予定	

1982年



朝倉に工場と最初の事務所を建てた時

2007年



現在の社屋を建てた時の地鎮祭と竣工祝賀会の様子



2014年～



2014年から外国人技能実習生の受け入れを開始。

2019年6月



アグロイノベーション展に出展

2019年6月



社屋増築工事地鎮祭

社員旅行 2019 in 長崎ハウステンボス

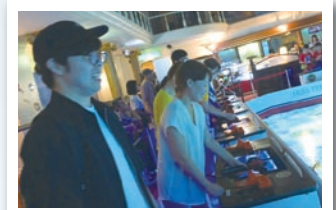
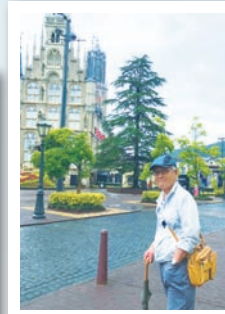
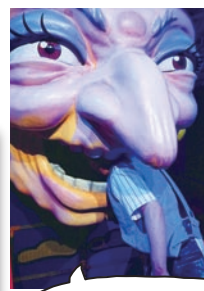
7月20日(土)
日帰り弾丸ツアー!

今年は日帰り弾丸で長崎ハウステンボスに行きました！
丁度7月20日は台風が接近している中での旅行でした。
長崎に近づくにつれ雨風がひどくなり「本当に大丈夫だろうか」と不安になりましたが、到着後はそれほどひどくなく安心しました。

昼食のビュッフェでは、ステーキや生ハムなど美味しい料理をいただき、悪天候の影響もあってか他のお客様が少なくゆっくりと料理を楽しむ事ができました。

ひまわり展やジブリ展、VRジェットコースターなど室内のイベントやアトラクションも豊富にあり、それぞれ時間いっぱいまで遊びました！

午後になると雨風がひどくなり、全員ずぶ濡れになりましたが「そんなこともあったね」とこれも旅の思い出になる事と思います。



あなたは私の太陽です。

ここで働かせてください！



大凶・・・
よかった、これからはい上がるだけだし(涙)



昼間のビールが一番ウマイ!!

和新工業株式会社
WASHIN INDUSTRY CO.,LTD.

〒838-0823 福岡県朝倉郡筑前町山隈1279-1
TEL 0946(23)0711 FAX 0946(23)0716
<https://www.washin-kogyo.co.jp>

